

今年の主役は水泳部

責善会水泳部 主将
マテリアル工学科3年 河村 雄大



筆者：中央

タイトルにもさせていただいたのですが、今年の夏は水泳部が大活躍をすることができましたので、今年度の主役は水泳部であったとさせていただきます。前号の表紙も飾らせていただきましたが、今年の水泳部は、水泳部史上初の九州国公立選手権にて男子総合3位の成績を残すことができました。これにより、全国国公立選手権の九州ブロックの代表とし

て、全国大会へ参加をすることができました。さらに、その大会にて学部4年の東藤が200メートルの平泳ぎ

にて、全国国公立選手権大会の決勝へ進出して、全国の舞台で九州工業大学の名を轟かせてくれました。私自身この大会に参加をして、実際に活躍する先輩の姿を見て感動するとともに、自分ももっと頑張ろうと強く思いました。また、その大会に参加した部員だけでなく水泳部に所属する全員のやる気に火が付き、練習に対する熱量が大幅に上がりました。来年度も全国大会で一人でも多く活躍ができるように、日々の練習を頑張っていきたいと思えます。

ここからは、水泳部の目標について、書かせていただきたいと思えます。来年度の水泳部は、今年よりもさらに飛躍の一年にできるようにしたいと思えます。その目標を達成できるように、部員一人ひとりが自己ベストを更新できるように、練習一つ一つに集中していきたいと思えます。

また、来年度も全国の舞台で決勝に進出して、九州工業大学の名前の広報につなげられたらいいなと考えております。もちろん、九州ブロックの代表としての権利も維持できるように、チーム一丸となり頑張りたいと思えます。

今年の水泳部が今まで以上に強かったのは、圧倒的に一人ひとりの成長と、新入生による強化ができたからであると考えています。その証拠として、昨年度に比べて今年度は、九州の舞台で全体の8位以内に個人で入賞した選手が男子は7名の8種目で、昨年度の成績の2倍近い決勝進出者を出すことができ、女子が2名の2種目という、こちらも昨年度の2倍の決勝進出者を出すことができました。男女ともに昨年度よりも圧倒的に好成績を残すことができたと思えます。また、昨年度の成績も過去最高レベルであったので、毎年成長を確実にしており、驚きが隠せません。

しかし、私はまだまだ成長できるはずだと思っています。その理由としては、今年はやっと、声を出しての応援が解禁されたのですが、長年応援をしておらず、声を出して応援

する方法を知らないという部員が多かったこともあり、せっかくの応援の機会があったのに、ほかの大学に比べ、まとまった声援を送れなかったことが挙げられます。応援が力になることを皆がわかっていながらできなかつたので、そこを来年度に向けてしっかりと習得できるようにしたいと思えます。他の大学を参考として、応援隊をつくりたりして盛り上げていきたいです。また、リレーの強化も図っていきたいと思います。今年度は新しく加入してくれた、情報工学部1年の増田の、一人でリレー3種目に出場という、ほかの部員と比べても圧倒的な過密スケジュールの支えもあり、九州のメドレーリレーとフリーリレーで男子全体3位



リレーで大活躍

と、800メートル男子7位という好成績を残すことができました。なので、来年度の強化案として、リレー種目に出場できる選手の層を強化して、チーム全員で挑めるようにしたいと思います。

さて、ここからは戸畑キャンパスのプール事情について書かせていただきますかと思えます。現在、九州工業大学の屋外50メートルプールを使用していますが、このプールは、近年ガタが来て困っています。今年に入って、プールの逆洗機が故障したり、プールサイドの一部が欠けてしまったりと目に見える欠陥が増えてきました。それに加えて、外に生えている松の木などの影響や、虫などが外から入ってきて、プールの中がゴミと虫でいっぱいになってしまったり泳げず、その日の練習をゴミ取りに充ててしまうこともあります。そこで、明専会の皆様に一つお願いがあります。現在、水泳部の中では、室内プールに変えてほしいという意見があがっています。しかし、室内プールではコストが非常に高くなってしまふことが高いリスクになっていきます。先ほども記述しましたが、現在の水泳部では、プールの中が汚く

なってしまうというのが不満要素の1つです。そこで、宮崎県東にある海のプールを参考にして、ビニールハウスでプールを囲うことで、プールのゴミ問題が解決できるのではないかと考えています。あわよくばボイラーなんかもつけてもらったりして、1年中泳げるプールを戸畑キャンパスに作ってもらえたら嬉しいなと思ったりもしています(笑)。

また、これは水泳部OBにプチ報告になりますが、学生係にお願いをして、プールの飛び込み台にはねをつけてもらうことにしました。これは、より試合の環境に近づけるためにお願いをしました。取り付けがいつになるかはまだ確定していませんが、もう算段は付いているので、あとは完成を待つだけです。これが取り付けられれば、今以上に飛び込みの技術を向上させることができ、部員一人ひとりのベストタイムを更新することにつながるのではないかと考えています。

ともかく、現在のプールが悲惨であるという事は、実際に見てもらえるとわかると思います。少しでも支援していただける九州工業大学の先輩がいると助かります。また、今

年1年間水泳部OB会に感謝をする1年間となりました。全国大会出場が決まり、少しでも選手への負担が減るようにとOBの皆様が協力してくださり、寄付金という形で応援をしていただきました。今年の全国大会は新潟での開催ということもあり、移動費やホテル代などで7万円ほどの個人負担がありました。OBの力添えもあり、ほとんど負担せずに全国大会へ出場することができました。その結果として、先ほどのご報告の通り、学部4年の東藤が自己ベストの更新と全国の舞台で水泳部史上初の決勝進出を果たすという快進撃を見せてくれました。これはサポートしていただいた先輩方のおかげでもあると強く感じました。



悲惨なプール状況

今年の水泳部の全国大会は大変でした。台風と移動日が重なったことで、当初は飛行機での移動を予定していましたが、新幹線と電車を駆使した片道5時間を超える移動となり、心身ともに疲労のたまる行程となりました。特に、初日のメドレーリレーのメンバーは急遽前日入りすることが決まり、前日の夕方から大阪まで移動して、試合当日の午前中に試合会場に着いてレースに出場するという過密なスケジュールになってしまいました。水泳部の歴代記録更新間違いなしのチームで挑んだのですが、歴代記録の更新はできませんでした。そこが一番楽しみポイントでしたが残念でした。こればかりは仕方がなかったのですが、来年はこの教訓を生かしたスケジュール計画を立てたいと思います。しかし出場部員でどうやって行くのが最善策なのかを考え、経路を変えたことで、東京や大阪にて英気を養うことができたので良かったかなと思います。まあ、実際のところプラスマイナスざりマイナスだと思います(笑)、楽しかったからオールコレクトといったところでしょうか。なかには行けなかった大学もあったとのこと、大会への



全国の舞台にて

出場ができたのは、不幸中の幸いであったと思います。また今年の全国大会では、九州地区の大学で団結をして大会へ参加することができました。これはとても嬉しく、楽しい時間となりました。ここ3年間、声を出しての応援や、他大学との交流が制限されていたので不安でしたが、こうやってほかの大学と一丸となって応援をして、一緒に喜んで、一緒に写真を撮影して、とても幸せな時間となりました。また、他大学の練習方法を共有してもらって参考にす

ることもできたので、今後の水泳部の発展にもつながるのではないかと思います。

今後とも水泳部の応援をよろしくお願ひします。先輩方の応援に応えることができる、新しいチームになったので、みんなで努力をしていきたいです。それと、女子部員を募集しています。毎年一人足りずにリレーへの出場ができないことが続いているので、周りに水泳部への入部を検討している女子がいたらぜひ発信していただけたら幸いです。もちろん男子部員も募集しています。部員が増えるとお財布事情が苦しくなっちゃいますが、部員が増えることで楽しいことは間違いなので絶対賛募集中です。また、少しでも私たちの結果を皆様にも知ってもらいたいので、X(旧ツイッター)にて「九州工業大学水泳部」というアカウント名で結果報告をしていますので是非チェックしてください。また、インスタグラムでも「九州工業大学水泳部」の名前で部の日常を発信し、面白い投稿もしていますので是非覗きにきてください。ダイレクトメッセージなどにも対応しますので、お気軽にご連絡ください。

謝辞

今回は部活動応援に採択いただきましたことを心より感謝申し上げます。今回の費用としては基本的に全国大会出場時への補助と、練習器具の追加や練習場所にかかる費用に充てさせていただきます。この支援は今後の水泳部としての活躍に必ず繋がります。今後ともご支援ご協力よろしくお願ひします。



OB 戦にて